

航空連第24期スタート

年三回闘争・組織拡大・国際活動強化の3本柱を軸に要求を前進させよう!

航空連第24期定期総会が9月27日・28日の二日間に亘りおこなわれました。冒頭挨拶で山口議長は、年三回闘争の重要性、航空における5万人の未組織労働者への組織拡大、国際活動の重要性など、この3つの柱を軸に力いっぱい闘うことを強調し、頑張る決意を述べました。また、その後行われた年間総括および方針の提案に対して31名の代議員からの教訓・意見などの発言が出されました。

各労組代議員の発言から

- デルタとノースの合併にともない、グラハンでは入札制度が行われ本社の判断待ちとなっている。
- 評価制度が導入されているが、基準の明確化が必要。組合の弱体化にも繋がる。
- 佐賀便裁判について署名活動を機関・個人署名をお願いしたい。
- 日本航空のマスコミ報道が出されており職場では不安が出ている。政策活動を強めてほしい。
- 09年を振り返り、勤務改悪に対して4245通のアンケートを回収し、改善を勝ち取った。導入を1ヶ月延期させた。契約制の加入により、人権侵害が明らかになり、改善の取り組みが重要。
- 日本航空の最近の状況で、マスコミ報道が行われているが・・・JJ7 労組で国交省・有識者会議へ要請し記者会見をおこなった。
- JALTAM の労働条件の向上少し改善させた。赴任手当てを10万から15万円へ。休日の改善も勝ち取った。
- JAL 債権問題で、職場では不安が出ている。地方は情報不足、本部から情報をもっと流してほしい。
- 幹事会として集会への参加について工夫をしている。労働条件が低いため、20代の人たちが会社を辞めていく状況にある。
- カーゴ部門の倒産により AF へ統合する。会社は6名の削減方針を出している。
- 公共交通になっている、それをささえるのが職場の労働者だ。組織拡大に力をいれている。

.....ETC

第24期の幹事・専従体制の紹介

役職名	氏名	出身労組など
議長	山口 宏弥	日本航空機長組合
副議長	赤坂潤一郎	フェデラルエクスプレス労働組合
"	奥田 洋史	全日空乗員組合
"	片岡 稔	エアーニッポン乗員組合
"	木俣 勝	日本航空労働組合
"	佐々木寿典	JGS東京労働組合
"	中川 香	日本航空キャビンクルーユニオン
事務局長	津恵 正三	日本航空ジャパン労働組合
事務局次長	岡野 健一	日本航空ジャパン乗員組合
"	竹島 昌弘	スカイネットワーク
"	丸山 伸弥	航空労組連絡会
"	三星 宗弘	日本航空乗員組合
"	和波 宏明	日本航空機長組合
会計幹事	白石 真澄	JGS東京労働組合
幹事	飯尾 淨	全日空乗員組合
"	石指 顕	日本航空乗員組合
"	江島 正剛	キャセイ航空労働組合
"	大國 毅	日本航空ジャパン乗員組合
"	大田 隆幸	スカンジナビア航空労働組合
"	大林 重信	日本航空先任航空機関士組合
"	香川 久人	日東航空整備労働組合
"	神里 彦次	東急ファシリティサービス空港労組
"	岸 伸幸	朝日航洋労働組合
"	熊耳 景太	日本航空ジャパン労働組合
"	小林 一平	日本航空乗員組合
"	杉原 孝	JGS東京労働組合
"	杉山 陽子	日本航空キャビンクルーユニオン
"	谷口 勝	日本航空ジャパン労働組合
"	萩原 玲子	日本航空キャビンクルーユニオン
"	平井 誠	JGS大阪労働組合
"	森 愛一朗	エアーニッポン乗員組合
"	渡部 伸一	日本航空機長組合
会計監査	河村 卓	全日空乗員組合
"	松野 淳一	日本航空労働組合
顧問	菊池富士夫	元 全日空労働組合
"	山下 茂久	元 オランダ航空労働組合
事務局	長谷 玉枝	
専従者	針谷 和雄	
"	酒井三枝子	

以上

